

I 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター事業報告

1. 会議等の開催に関する事項

○総会の開催

- 6月29日（月） 第4回（一社）美しい伊豆創造センター定時社員総会（三島市役所）
議案第1号 令和元年度一般社団法人美しい伊豆創造センター事業報告及び計算書類の承認について
議案第2号 一般社団法人美しい伊豆創造センター定款の変更について
議案第3号 一般社団法人美しい伊豆創造センター役員の改選（案）について
報告第1号 令和2年度一般社団法人美しい伊豆創造センター事業計画及び収支予算について

10月16日（金） 美しい伊豆創造センター臨時社員総会（書面決議）

- 議案第1号 一般社団法人美しい伊豆創造センター役員（理事）の選任について

○理事会の開催

6月15日（月） （一社）美しい伊豆創造センター理事会（書面決議）

- 議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について
議案第2号 （一社）美しい伊豆創造センター定款の変更について
議案第3号 （一社）美しい伊豆創造センター役員の推薦について
議案第4号 （一社）美しい伊豆創造センター役員候補について
議案第5号 令和元年度（一社）美しい伊豆創造センター事業報告（案）及び計算書類の承認（収支決算）（案）について
議案第6号 定時社員総会の開催について
報告第1号 （一社）美しい伊豆創造センター企画運営委員会委員長及び副委員長の選任について
報告第2号 （一社）美しい伊豆創造センター広域観光事業委員会委員長及び副委員長の選任について
報告第3号 令和2年度収支予算の変更について

6月29日（月） （一社）美しい伊豆創造センター理事会（書面決議）

- 議案第1号 一般社団法人美しい伊豆創造センター代表理事の選定について
議案第2号 一般社団法人美しい伊豆創造センター業務執行理事及び副会長の選任について
議案第3号 （一社）美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について

9月10日（木） （一社）美しい伊豆創造センター理事会（書面決議）

- 議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター収支予算の変更について
議案第2号 伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合について
議案第3号 （一社）美しい伊豆創造センター役員候補について
議案第4号 （一社）美しい伊豆創造センター臨時社員総会の開催について

12月16日（水） （一社）美しい伊豆創造センター理事会（三島市役所・オンライン）

- 議案第1号 （一社）美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について
議案第2号 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第84条に係る取引の承認について
報告第1号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター事業経過報告について
報告第2号 （一社）美しい伊豆創造センターの方向性について
報告第3号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター収支予算の変更について

協議第 1 号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業計画（案）、市町負担金（案）及び収支予算（案）について

3月26日（金） （一社）美しい伊豆創造センター理事会（三島市役所・オンライン）

議案第 1 号 （一社）美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について

議案第 2 号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業計画（案）

議案第 3 号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター収支予算（案）

報告第 1 号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター事業経過報告

報告第 2 号 美しい伊豆創造センターの在り方とジオパーク推進協議会との統合について

○委員会の開催

5月29日（金） （一社）美しい伊豆創造センター企画運営委員会（書面決議）

議案第 1 号 （一社）美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について

議案第 2 号 （一社）美しい伊豆創造センター定款の変更について

議案第 3 号 （一社）美しい伊豆創造センター役員の選任について

議案第 4 号 （一社）美しい伊豆創造センター役員候補について

議案第 5 号 令和元年度（一社）美しい伊豆創造センター事業報告（案）及び計算書類の承認（収支決算）（案）について

議案第 6 号 定時社員総会の開催について

報告第 1 号 （一社）美しい伊豆創造センター企画運営委員会委員長及び副委員長の選任について

報告第 2 号 （一社）美しい伊豆創造センター広域観光事業委員会委員長及び副委員長の選任について

報告第 3 号 令和2年度収支予算の変更について

7月21日（火） （一社）美しい伊豆創造センター企画運営委員会（修善寺総合会館）

議案第 1 号 （一社）美しい伊豆創造センター収支予算の変更について

議案第 2 号 伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合について

議案第 3 号 （一社）美しい伊豆創造センター役員候補について

12月1日（火） （一社）美しい伊豆創造センター企画運営委員会（オンライン）

議案第 1 号 （一社）美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について

議案第 2 号 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 84 条に係る取引の承認について

報告第 1 号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター事業経過報告について

報告第 2 号 （一社）美しい伊豆創造センターの方向性について

報告第 3 号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター収支予算の変更について

協議第 1 号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業計画（案）、市町負担金（案）及び収支予算（案）について

3月19日（金） （一社）美しい伊豆創造センター企画運営委員会（オンライン）

議案第 1 号 （一社）美しい伊豆創造センター入会申込者の許否について

議案第 2 号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業計画（案）

議案第 3 号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター収支予算（案）

報告第 1 号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター事業経過報告について

報告第 2 号 美しい伊豆創造センターの在り方とジオパーク推進協議会との統合について

7月10日（金）DC伊豆地域部会 担当会議（広域観光事業委員会 実務担当会議）（修善寺総合会館）

- 報告事項 ①静岡DC関連の報告について
②伊豆地域部会 決算及び予算（案）について
③GAP調査の実施について
④新型コロナウイルス関連の報告について
⑤静岡県観光協会からの共有事項について

- その他事項 ①おもてなし企画「桜茶の提供」について
②インバウンド事業について
③駿河湾フェリー子ども利用促進キャンペーン 割引特典へのご参加について
④各種パンフレット（プリンカタログ・雨の日・花リーフレット）について

10月2日（金）大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域部会（広域観光事業委員会 実務担当会議）（修善寺総合会館）

- 報告事項 ①伊豆半島 WEB スタンプラリーの報告について
②静岡県大型観光キャンペーン推進協議会伊豆地域部会規約の一部改正について
③コロナPT報告事項及び依頼事項について
④静岡県観光協会からの共有事項について
⑤SNSいず自慢「#いいね伊豆」及び重点販売CPパンフレットについて

- その他事項 ①インバウンド事業について
②観光型 MaaS「Izuko」について
③（一社）ふじさん駿河湾フェリーからのお知らせ

11月12日（木）大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域部会（広域観光事業委員会 実務担当会議）（修善寺総合会館）

- 報告事項 ①伊豆半島及び競合地域に係るデジタルマーケティング調査の結果について
②ふるさと観光展 IN 仙台駅等の報告について
③JR東日本重点販売キャンペーンに向けたカウントダウン企画の実施及び伊豆半島周遊企画「いずボン！」について
④「鎌倉殿の13人」ゆかりの地 伊豆・富士山周遊促進連絡協議会（仮称）について
⑤今後の事業・スケジュールについて

- その他事項 ①観光型 MaaS「Izuko Phase3」について
②重点販売キャンペーンメインパンフレット及び2020年秋冬全県観光パンフレットについて
③美しい伊豆創造センターSNS アカウントのフォローについて

12月4日（金）（一社）美しい伊豆創造センター広域観光事業委員会（修善寺総合会館）

- 報告第1号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター事業経過報告について
報告第2号 （一社）美しい伊豆創造センターの方向性について
報告第3号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター収支予算の変更について
協議第1号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業計画（案）
令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター市町負担金（案）
令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター収支予算（案）

1月29日（金）大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域部会（広域観光事業委員会 実務担当者会議）（修善寺総合会館）

- 報告事項 ①「伊豆・箱根・湯河原 湯どき花どきキャンペーン」 カウントダウン企画について
②伊豆半島周遊企画「いずボン!」、伊豆半島メディアプロモーション及びヨガのオンライン観光について
③大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を契機とした観光振興の取り組み（案）について
④地域ブランド化事業について
⑤今後の事業・スケジュールについて

3月24日（水）（一社）美しい伊豆創造センター広域観光事業委員会（修善寺総合会館）

- 報告第1号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター事業計画（案）について
報告第2号 令和3年度（一社）美しい伊豆創造センター収支予算（案）について
報告第3号 令和2年度（一社）美しい伊豆創造センター 事業経過報告について
報告第4号 （一社）美しい伊豆創造センターの在り方と伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合について
その他事項 ポケモンプロジェクトの報告について
伊豆総合パンフレットの配布について

2. 伊豆半島観光戦略推進（DMO）事業に関する事項

（1）伊豆半島観光戦略推進（DMO）事業

○事業概要及び成果等

伊豆半島の観光消費額拡大を図るため、調査・研究を通じた地域の課題抽出、新しい観光コンテンツの創出・流通促進や関係者の合意形成や地域のおもてなし気運醸成など中期的な取り組みによる課題解決を図っていくことを目的とする。

○事業実施状況

①伊豆半島観光戦略推進（DMO）事業

- ・平成31年度（令和元年度）のDMOの目標達成度評価についてはP12のとおり。
- ・1月末：観光庁にDMO事業報告提出
- ・観光庁のガイドライン改定に伴い、登録から3年を迎える令和3年7月に再審査予定。

事業名	概要
伊豆半島グランドデザイン概要版の作成	7市6町首長会議にて策定された「伊豆半島グランドデザイン」の概要版を作成した。
静岡県DMO会議	3月12日（金）に参加（オンライン開催）

②観光コンテンツ商品開発・販売促進事業

- ・伊豆半島ジオパークを中心とした地域の魅力的なコンテンツを活用した商品（プログラム）開発を行い、観光消費の受け皿づくりを進める。
- ・また、様々な手法を用いた開発商品（プログラム）の流通促進を通じ、観光交流客数拡大による観光消費額の最大化を図りたい。

事業名	概要
静岡県教育旅行説明会(山梨県甲府市・北杜市)	首都圏からの修学旅行先変更を検討する山梨県小中学校対象の静岡県主催の教育旅行説明会に参加し、ジオ教育旅行プログラムと伊豆半島各地の体験学習受け入れ地区・施設のプレゼンテーションを行った。 北杜市・甲斐駒センター(7/28)、甲府市・山梨県庁(7/29) 松本市・アルピコプラザホテル(12/17) 甲府市・ホテル談露館(12/18)
南アルプスユネスコエコパークとの連携セールス	長野県伊那市(3県連携幹事)、山梨県早川町(山梨県幹事)・北杜市の事務局へ伊豆半島ジオパーク推進協議会との連携や最終的な教育旅行誘致を目的としたジオ教育プログラムセミナー、実地研修の設定に向けてセールスを実施した。

③人材育成の研修会の実施事業

事業名	概要
日本大学国際関係学部講座「伊豆観光文化論 2020」	外部講師として「伊豆半島の現状と美しい伊豆創造センターの取り組み」をテーマに観光動向データとDMOとしての取り組みの関連やコロナ禍の影響について講義。(10/19)

④観光事業者採用支援事業

- ・首都圏の優秀な若手人材の確保を目的とし、東京都内において伊豆半島ホテル温泉旅館合同企業説明会の開催を予定していたが、コロナ禍により対面式での実施が困難であるため、形式を変更してオンラインでの説明会を実施した。
- ・また、その他実施を予定していた、ふじのくに留学生就職促進プログラム(SCDP)、学内説明会等の各種関係団体との連携事業についても、開催を見送ることとなった。

事業名	概要
伊豆半島ホテル温泉旅館オンライン合同会社説明会	毎年、東京都内において説明会を開催していたが、コロナ禍により感染症拡大予防の観点から対面式での実施が困難であるため、オンラインでの説明会を実施した。(2/14) 参加者：219名(昨年54名 約4倍増) 参加校：104校 開催方法：オンラインによるLIVE配信 (出展者：『zoom』又は『Vimeo』、学生：『Event hub』) ・出展者数：伊豆半島ホテル・旅館13社 共催：静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合 協賛：(株)オータパブリケーションズ

事業名	概要
各種マッチング調査	県内及び首都圏の学校、関係団体より希望があり、下記のとおり伊豆半島宿泊事業者とのマッチング調査を行った。 ・東京すし和食調理専門学校 夏季インターンシップマッチング調査 ・ふじのくに留学生就職促進プログラム冬季インターンシップマッチング調査 ・駿台トラベル&ホテル専門学校 就職マッチング調査（9/17） ・ヨークグローバルビジネスアカデミー専門学校 就職マッチング調査 ・千葉モードビジネス専門学校 就職マッチング調査（10/15）
各種関係団体との連携事業	コロナ禍により、当年度予定されていたふじのくに留学生就職促進プログラム（SCDP）、学内説明会等は中止となっており、当年度の連携事業は見送った。
ふじのくにに住みかえる推進本部関連事業	例年、東京都内の会場で静岡県等の主催する移住・定住交流イベントが開催されており、当センターにおいても伊豆半島宿泊事業者と連携し、宿泊業の仕事内容紹介を実施してきたが、コロナ禍により、当年度予定されていたイベント開催が中止となっており、当年度の参加事業はなし。

⑤デジタルマーケティング推進事業

- ・静岡県が進める観光デジタル情報プラットフォームとの連携については、本年度県が構築を行い、来年度以降、地域サイトとの連携を進めることとなった。
- ・本年度は伊豆・箱根来訪者に関する旅行者意向調査を実施し、今後の商品開発の参考とした。併せて、県伊豆観光局の委託により作成したデジタルスタンプラリーシステムの運用を行った。

事業名	概要
伊豆・箱根来訪者に関する旅行者意向調査	競合地域である箱根の来訪者との旅行者属性・旅行者の満足度比較による強み・弱みの明確化と満足度向上に向けた対策の方向性について調査を行った。 調査結果は広域観光事業委員会実務担当者会議（11/12）にてフィードバックを行い、今後の商品開発への活用を促した。
デジタルスタンプラリーシステムの運用	県伊豆観光局の委託により作成したデジタルスタンプラリーシステムを運用し、伊豆半島内で利用してもらうことにより、半島内の周遊を促進するとともに、データ収集を行う。 県伊豆観光局と連携し、美伊豆会員に対しWEBスタンプラリーのシステム説明会を実施し、システムの周知を図った。（7/10） 美伊豆において2種のスタンプラリーを実施した。（7/20～8/31） スタンプラリーの実施結果を、美伊豆会員に対し報告し、システムの活用を要請した。（10/2）

⑥ワーケーション推進事業

- ・伊豆半島のワーケーション事業の推進のため、フリーランス事業者、副業者及び副業希望者を招聘するワーケーションプログラムモニターツアーを実施予定であったが、首都圏の緊急事態宣言発令を踏まえ、中止した。

⑦その他関連事業

事業名	概要
ふるさと納税活用事業	企業版ふるさと納税制度を活用した広域連携事業を受け皿とした地域再生計画策定と申請の支援を準備中。
旅行業登録事業	令和2年3月24日付にて第2種旅行業登録 令和2年4月1日付（一社）全国旅行業協会加盟

○評価・改善

（１）平成31年度（令和元年度）のDMOの目標達成度評価

年度 K P I	平成29年度 2017年度	平成30年度 2018年度	平成31年度（令和元年度） 2019年度		
	実績	実績	実績	目標比	前年度比
旅行消費額	300,226百万	299,050百万	284,015百万	91.4%	95.0%
延べ宿泊者数	11,417千人	11,332千人	10,744千人	86.8%	94.8%
来訪者満足度	97.9%	97.8%	98.9%	▲0.5%	+1.1%
リピーター率	65.1%	67.0%	72.7%	+4.6%	+5.7%
Webサイト	75,933PV/月	59,051PV/月	51,676PV/月	57.4%	87.5%
観光入込客数	47,366千人	46,423千人	43,830千人	88.1%	94.4%

●延べ宿泊者数

- ・上半期（４～９月）はＪＲ静岡ＤＣ効果もあり順調に推移していたが、大型台風２回直撃により、秋以降前年を下回り、２月下旬以降のコロナウィルス感染症拡大の影響を受け、前年度実績比 94.8%となった。※減少傾向が顕著な月：１０月(84.2%)、３月(58.3%)

●観光消費額

- ・延べ宿泊数に加え、算出根拠である観光交流客数も同様の理由で前年度実績比 94.4%であった。消費単度は若干アップしたが、結果的に前年度算出額に対し、95.0%となった。

●来訪者満足度

- ・目標値には届かなかったが、前年度より1.1ポイント向上し、「大変満足」比率も向上した。項目別では、「旅行中の移動」項目が悪化しており、交通渋滞を緩和する需要の平準化が課題。従来からの課題である情報収集については、横這い状況。

●リピーター率

- ・４回目以上のリピーター率がアップしており、季節別では台風の影響があった秋以外はすべてアップ、発地別では主力である関東・県内が顕著にアップしている。

●Webサイトアクセス数

- ・サイトドメイン変更以降PV減少傾向であり、モデルルート検索機能実装やSNSからの誘導強化が必要。

(2) 令和3年度(2021年度)～令和5年度(2023年度)の設定KPIについて

- ・上記を踏まえ、令和3年度(2021年度)以降のKPI設定を行った。

年度 KPI	令和2年度 2020年度	令和3年度 2021年度(仮)	令和4年度 2022年度	令和5年度 2023年度
旅行消費額	320,643百万	299,050百万	299,050百万円※	308,703百万
延べ宿泊者数	12,777千人	11,332千人(仮)	11,332千人(仮)	11,685千人
来訪者満足度	99.5%	98.0%	98.0%	98.0%
リピーター率	70.0%	67.0%	67.0%	67.0%
Webサイト	80,000PV/月	80,000PV/月	90,000PV/月	100,000PV/月
観光入込客数	46,423千人	46,423千人	46,423千人	47,922千人

(評価)

- ・観光地域づくり法人として、新型コロナウイルスPTの活動などを通じ、観光関係者以外の商工会議所・商工会、宿泊事業者などに対する情報提供を行ったが、組織自体の活動がほとんど認知されておらず、更なる情報提供や連携が必要である。
- ・伊豆半島ホテル温泉旅館合同企業説明会については、219名・104校と多くの学校や学生が参加し、学生人数は昨年度(54名)と比較して約4倍増となった。学校関係者からは、「コロナ禍の中、多くの学生がリ・ターンなどの地方就職に目を向けており、首都圏から近い伊豆半島は、学生の選択肢に入りやすい。」「伊豆半島の13社のホテル旅館が採用活動を実施している事は、学生への伊豆地域の安心感を与える材料になる。」とのコメントがあり、出展企業からも今後の採用に結び付いたという前向きな意見が上がった。
- ・デジタルマーケティング推進については、伊豆・箱根来訪者に関する旅行者意向調査などを行ったものの、いまだ立ち遅れており、更なる強化が必要。

(改善)

- ・観光地域づくり法人として、また伊豆半島グランドデザインの推進組織として、多彩な主体との連携を図るとともに、令和4年度4月に予定される伊豆半島ジオパーク推進協議会との統合を見据え、地域づくりに係る取組を行っていく。
- ・伊豆半島ホテル温泉旅館合同企業説明会については、内定が出始める6月から7月にかけて内定率等の実績調査を実施し、効果測定を行ったうえで出展者の意見を伺いながら、来年度の事業実施を検討していく。
- ・デジタルマーケティング推進事業については、新たな旅行意向度調査を実施し、旅行商品の開発促進、効果的なプロモーション等に活用するとともに、デジタルスタンプラリーシステムの活用を促進し、データ収集に努める。
- ・ワーケーション推進事業については、伊豆半島内における様々なワーケーションの取組を支援するよう、モニターツアー等を実施していく。

3. 国内観光キャンペーン事業に関する事項

(1) 国内観光キャンペーン事業

○事業概要及び成果等

4月から6月までの静岡DCアフターキャンペーンにおいて、様々な事業を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、ほぼ全ての事業が中止となった。このため、当初予算の組替を行い、伊豆半島7市6町首長会議での決議を受けて設置された「新型コロナウイルス対応プロジェクトチーム」（以下、「PT」という。）において、応急的な誘客対策などの短期的なコロナリカバリー対策事業を実施した。

PTの意見を踏まえ、13市町から臨時交付金を主な財源とする負担金を拠出いただき、「伊豆半島メディアプロモーション事業」及び「JR東日本重点販売キャンペーン連携事業」を実施した。

「伊豆半島メディアプロモーション事業」では、首都圏5局のテレビCMを12月下旬から1月下旬まで合計220本放映するなど、テレビ媒体を活用した首都圏方面へのPRを実施し、コロナ禍で落ち込んでいる伊豆半島への誘客促進及び域内の観光消費額の拡大を図った。「JR東日本重点販売キャンペーン連携事業」では、令和3年1月から3月にかけて実施された「伊豆・箱根・湯河原 湯どき花どきキャンペーン」において、JR東日本横浜支社、JR東海と連携し、デジタルクーポン企画「いずポン！」や、除菌ウェットティッシュ及びマスクケースをプレゼントするおもてなし企画などを実施した。

また、令和4年1月から、NHK大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の放映が開始されることから、県が立ち上げた伊豆・東部20市町で構成する広域協議会に参加し、歴史資源調査を実施するとともに、伊豆の国市の大河ドラマ館と伊豆半島の観光施設などの相互割引企画の実施に向けて準備を進めた。

○事業実施状況

①国内観光キャンペーン事業

- ・新型コロナウイルス感染拡大防止に努め、国内で開催された各種観光展への出展、ふじのくにしずおか観光大商談会の参加、エージェントセールス等を実施し、伊豆の観光情報及び伊豆半島の安全安心情報などを発信することで、誘客促進を図った。

事業名	概要
物販イベント「いず活」開催（修善寺駅構内）	伊豆箱根鉄道、伊豆市などで組織する「いず活実行委員会」主催。いずっぱこスプリングフェスタが中止となり代替イベントとして、滞在型ではなく販売メインの立ち寄り型の新しい形のイベント「いず活」を開催した。「地域から伊豆を盛り上げる」をテーマに、地元の飲食店・土産物店など13店舗が出店した。（6/28）
静岡DCアフターキャンペーン終了に伴うメッセージ動画の公開	各市町及び各交通事業者に画像を提供いただき、コロナウイルス収束の際には伊豆半島にお越しいただきたいという旨の動画を公開した。動画は、美伊豆のFacebookアカウント、Instagramのストーリーズやホームページに投稿した。（7/1）

事業名	概要
“ぐるっと”しずおかラリー開催（静岡県内全域）	静岡県大型観光キャンペーン推進協議会主催事業に協力。LINE を活用し、県内各スポットで2エリア以上4枚のシズオカードを集め、抽選で500名に県内宿泊券10,000円分がプレゼントされた。参加者数の合計は9,348人（うち応募者数2,870人）、施設数は全県で135施設（伊豆は45施設）が参画した。（7/10～8/31）
首都圏キャンペーンキックオフ会議（ホテルイースト21 東京）	近畿日本ツーリストの開催する首都圏キャンペーンキックオフ会議に参加し、伊豆の観光プレゼンテーションを実施した。会議終了後の商談会は、各事業者が参加した。（7/13）
伊豆半島WEBスタンプラリー開催（伊豆半島13市町域内）	伊豆観光局と開発したWEBスタンプラリーシステムの利用促進のため、2種のWEBスタンプラリーを実施し、伊豆半島内の周遊促進と域内消費の拡大を図った。（7/20～8/31） 実施当たっては、伊豆半島夏の観光情報と併せてプレスリリースを実施（7/17）し、伊豆日日新聞に記事が掲載された。（7/22） ・IJP-ふるんプリンラリー（伊豆の自慢プリンラリー） 参加人数279人、達成者58人、景品交換44人 ・伊豆半島のりのりWEBスタンプラリー 参加人数505人、達成者259人、景品交換237人
第29回「ふるさと観光展IN仙台駅」（JR仙台駅）東北エージェントセールス	JR仙台駅で行われたふるさと観光展に参加し、市町、観光協会、交通事業者提供のパンフレット合計3,100部を配布した。併せて県観光協会、伊豆急ホールディングス、一社ふじさん駿河湾フェリーと合同で、東北エージェントセールスを実施した。阪急交通社、日本旅行東北企画センター、読売旅行など5社を訪問し、大河ドラマ、サフィール踊り子、伊豆急行、駿河湾フェリー等のPRを実施した。（10/7～10/9）
首都圏旅行会社、中京圏・関西圏旅行会社とオンライン商談会（ツインメッセ静岡）	市町、観光協会、交通事業者、観光関連事業者が参加するオンライン商談会に参加し、旅行会社・メディアと商談を行った。 首都圏商談会（10/14）：首都圏側34団体、静岡県側76団体。美伊豆は、はとバス、小田急トラベル、農協観光など10社と商談。 中京圏・関西圏商談会（10/27）：中京圏・関西圏側28団体、静岡県側68団体。美伊豆は、近畿日本ツーリスト関西、阪急交通社、東武トップツアーズなど13社と商談。
ツーリズム EXPO ジャパン 2020 旅の祭典 in 沖縄（沖縄コンベンションセンター）	県観光協会、県空港振興課、富士山静岡空港(株)とブースを出展し、商談会に参加。びゅうトラベルサービス、東武トップツアーズ、沖縄ツーリストなど18社と商談を実施した。併せて在日外国人メディアとの個別ビジネスセッションに参加し、Japan times の編集者など、合計3名とセッションを実施した。4日間の来場者数は、24,174人と発表があった。（10/29～10/30）

事業名	概要
静岡県観光素材説明会（福岡県福岡市）	県観光協会、浜松DMO、ふじさん駿河湾フェリーと参加。 三島スカイウォークや伊豆の国パノラマパークなど富士山のビュースポット、MOA美術館×ヨロイツカスイーツの大人の休息プレミアムプランなどの特別企画及び大河ドラマ「鎌倉殿の13人」の取り組みなどを紹介する10分間の観光プレゼンテーションを実施し、旅行会社など8社に商品造成を依頼。（3/12）
伊豆半島総合パンフレット 「CHOITAS 伊豆」 発行	伊豆総合パンフレットについて、「ちょい足しで、伊豆旅をもっと楽しく！」をコンセプトに大幅なリニューアルを行った。 発行部数：20,000部（A4サイズ 32ページ） 配架場所：13市町、観光協会、伊豆の交通事業者、JR東日本、JR東海、道の駅、観光事業者ほか 伊豆日日新聞（4/10）、静岡新聞（4/18）に記事が掲載された。

②コロナリカバリー対策事業

- ・美伊豆を事務局とするPTを立ち上げ、伊豆半島各地域の観光面の影響や課題を共有しつつ、時宜にかなった対応の検討及び観光事業者への積極的な支援を目的として、以下の事業を実施した。

事業名	概要
新型コロナウイルス対応プロジェクトチーム（PT）	美伊豆を事務局としたPTを立ち上げ（4/8）、会員と国・県の施策や動向などの情報共有を行うとともに、緊急事態宣言解除後は、PTの意見交換会を3回実施（5/26、7/10、10/2）し、メンバーへの個別ヒアリングを通じて出された意見等を踏まえ、事業を実施した。
県内メディアキャラバン	県内需要喚起の促進を目的に、県内メディアに対する情報発信強化の要請に向けたキャラバンを実施した。 豊岡会長、ぬまづ燦々レディー、いずきゆんが、静岡放送(株)、(株)テレビ静岡、(株)静岡朝日テレビの3社を訪問し（6/8） SBSの昼のニュース（6/8）、テレビ静岡「チョットいいタイム」（7/2）で放映され、静岡新聞に記事が掲載された。（6/9）
静岡県民向け宿泊促進事業	県内需要喚起策の一環として、OTA3社（じゃらん、楽天、yahooトラベル）において、割引クーポンの販売（1予約あたり上限：半額又は1万円、8,000円、6,000円）を実施した。 6/15に楽天及びyahooトラベル、6/16にじゃらんにて販売を開始し、各OTAとも販売開始2日後に完売した。 ＜事業実績＞ 宿泊予約：458件（一部直前キャンセルにより、未使用） 宿泊者数：1,105人 宿泊販売額：13,905,173円

事業名	概要
伊豆半島観光安全安心動画制作・発信	伊豆半島の安心安全のおもてなしと新しい取組を域内外に発信するため、観光関連事業者の各種取り組みとメッセージを紹介するショートムービー「New Visit Style in IZU」を制作し、ゆうゆうネット伊豆や県観光協会の「ハローナビしずおか」、SNS公式アカウント、You Tubeチャンネルなどで公開するとともにテレビ神奈川「いい伊豆見つけた」等でもCM放映を行った。 ・対象事業者：観光施設、飲食関連、宿泊事業者、交通事業者等 ・動画形式：3分動画及び30秒動画（CM用）の2種類 ・撮影期間：7月下旬～8月 ・YouTubeチャンネル配信開始：9月1日～

③県外誘客事業

- ・コロナ禍で落ち込んでいる伊豆半島への誘客促進を図るため、国のGO TOトラベル事業や静岡県が実施する誘客対策事業と連動し、主としてテレビ媒体を活用した首都圏方面へのPRを行った。伊豆半島の食を含む旬の魅力を発信することにより、域内の観光消費額の拡大を図った。
- ・コロナ禍で落ち込んでいる伊豆半島への誘客促進を図るため、伊豆半島の早咲き桜のシーズンに伊豆・箱根・湯河原地域を対象に実施されるJR東日本重点販売キャンペーン「伊豆・箱根・湯河原 湯どき花どきキャンペーン」と連携した誘客施策を実施した。

事業名	概要
伊豆半島メディアプロモーション事業	①伊豆半島PR CM動画制作 早春の伊豆半島をプロモーションするためテレビCM・YouTube広告用の動画素材として、「①GO GO！伊豆篇」、「②いつか伊豆で会おう篇」の2種類の動画を制作 ②テレビCM放映 年末年始の期間に首都圏5局でスポットCM「いつか伊豆で会おう篇」を放映した。CM放映総数214本を放映し、首都圏の延べ約1億1,163万人にリーチし、中長期的な視点で、伊豆半島の訴求を首都圏層に直接行うことができた。併せて県内においても、静岡第一テレビで合計27本のCMを放映した。 ③テレビ番組パブリシティ TBS、TOKYO MX、テレビ神奈川、テレビ埼玉、チバテレビ、とちぎテレビ、群馬テレビの6局でテレビ番組での露出PRを行った。全10本の番組露出を行い、首都圏の延べ約681.2万人にリーチした。

事業名	概要
伊豆半島メディアプロモーション事業	④共同通信 PR ワイヤー告知 共同 PR ワイヤーにて、WEB 上でプレスリリースを配信。提携 53 サイトに掲載され、広告費換算で 1,418 万円以上の露出効果があった。(3/22) 配信：WEB53 サイト掲載、メール 2005 通配信、FAX56 通配信 露出：広告費換算額 14,182,451 円 ※WEB 掲載分 ⑤youtube での CM 動画公開 動画の視聴促進とサイト流入促進を目的として、youtube 動画広告を実施した。(3/15～3/26・3/29・3/30) https://www.youtube.com/watch?v=rD7E3L1FtNs 視聴回数：276,935 回 広告クリック数：28,128 回 配信設定：東京都、神奈川県、埼玉県、千葉県、栃木県、群馬県在住の男女 ⑥特設 Web サイトの立ち上げ テレビ CM から誘導する特設 Web サイトを立ち上げ、CM 動画を公開すると共に、早春の伊豆のオススメ観光スポットやスイーツなどを紹介した。 https://gogo-izu.com ページビュー数：32,543 回 サイト訪問者数：22,586 人 ⑦ J R 東日本首都圏の駅サイネージ JR 新宿駅、JR 品川駅をはじめとした首都圏の駅約 90 箇所で、「いつか伊豆で会おう篇」の 15 秒の CM 動画を放映した。(2/9～2/24) 想定再生回数：約 96,480 回 ⑧ JR 東日本横浜支社 Facebook シェア JR 東日本横浜支社 Facebook と連携し、美伊豆 Facebook アカウントでの投稿をシェア・拡散した。(3/26)
J R 東日本重点販売キャンペーン連携事業	①専用パンフレット制作 重点販売キャンペーンのメインパンフレット全 25 万部の内、2.45 万部を本事業費より製作し、伊豆半島 13 市町役場・観光協会、箱根町・湯河原町観光協会、JR 東海各駅、JTB・近畿日本ツーリスト・小田急トラベル、地域観光事業者等に配布した。 ②伊豆半島を巡ってプレゼントをもらおう！「いずポン！」 J R 東日本重点販売キャンペーンと連動した周遊企画として、感染症対策に留意しながら、期間中に 13 市町 17 カ所でプレゼントを進呈するデジタルクーポン企画「伊豆半島を巡ってプレゼントをもらおう！“いずポン！”」を実施した。(1/5～3/15) 参加者数：620 名（コンプリート達成 1 名） 総景品引換件数：1,328 件 複数箇所引き換え：全参加者の 33%

事業名	概要
J R 東日本重点販売 キャンペーン連携事 業	③オンライン観光ライブ配信 「緊急事態宣言」下で来訪の呼びかけが困難な中、静岡 DC からターゲットとしてきた F1 層(20-34 歳女性) にとっての「伊豆に来訪するきっかけづくり」を目的に、伊豆の魅力をオンライン配信上で体感できるオンラインヨガレッスンを実施した。(1/9、10) 配信場所：中伊豆ワイナリーシャトー T. S 視聴数：405 回 下田東急ホテル 視聴数：418 回 ③宿泊施設でのおもてなし企画（安全安心対策） コロナ禍における宿泊施設でのおもてなしとして、期間中に J R グループ協定旅館ホテル連盟 横浜支部 伊豆地区支部の加盟施設に宿泊した方に対し、桜をモチーフとした「オリジナル除菌ウェットティッシュ」及び早春の伊豆をイメージした「オリジナル使い捨てマスクケース」をプレゼントするおもてなし企画を実施した。(2/10～3/31) ④I z u k o 利用促進 過去 2 回の実証実験を踏まえ、各種改善やサービス内容の拡充が図られた観光型 Maas「Izuko」の利用促進に努めることにより、伊豆半島への誘客および伊豆半島内の周遊促進を図るとともに、デジタルチケットによる利用時の非接触および混雑状況提供により、観光庁の定める「新しい旅のエチケット」実行の一助となるよう取り組んだ。(11/16～3/31) ・各種販促プロモーションへの協力 ・コロナ禍におけるお客様の利便性向上と「密」の回避を目的とした、混雑度検索システム「VACAN」の導入支援および調整

④大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」に係る取組

- ・大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」の放映を契機に、その舞台と想定される伊豆半島の歴史・文化を全国に発信し、県内外から人を呼び込むとともに、広域の周遊を促すため、「大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」ゆかりの地 伊豆・富士山周遊促進連絡協議会」や「大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」伊豆の国市推進協議会」の取組と併せて、事業を実施した。

事業名	概要
大河ドラマ「鎌倉殿 の 13 人」ゆかりの地 伊豆・富士山周遊促 進連絡協議会	大河ドラマを活用した広域周遊の促進等を目的とした同協議会が設立(11/18)され、美伊豆も事務局に参加。 美伊豆は広域周遊促進施策等を所管し、旅行商品の造成依頼や P R を行っていく。令和 2 年度は県から委託により「歴史的観光資源調査」を実施した。(県連携事業)

事業名	概要
大河ドラマ「鎌倉殿の13人」伊豆の国市推進協議会	主人公である北条義時の生誕の地である伊豆の国市の魅力を広く全国に発信すること、及び伊豆の機運醸成を図ることを目的に同協議会が設立（7/5）された。美伊豆からは、協議会の委員として植松専務が参加している。
ノベルティ「鎌倉殿の13人 クリアファイル」の制作	鎌倉殿の13人の告知を目的として、クリアファイルを1,000枚制作し、東名阪のメディアや旅行会社を中心に配布することで、伊豆の国市を含む伊豆半島の旅行商品造成に繋げる機会とする。
大河ドラマ館及び伊豆半島の観光施設の相互割引企画	域内の周遊促進を目的として、大河ドラマ館及び伊豆半島の観光施設の相互割引企画の実施に向け協議を進めた。 伊豆半島の観光施設想定：約26施設（1市町2施設）

⑤アニメ『ゆるキャン△』シーズン2放映に係る取組

- 令和3年1月7日から、アニメ『ゆるキャン△』シーズン2の放送が開始された。シーズン2は伊豆や浜松などが舞台となり、県内のキャンプ場だけでなく、絶景、温泉、グルメ、ジオスポットなども紹介され、新型コロナウイルス収束後は、モデル地を巡る多くのファンの来訪が期待される。

事業名	概要
ゆるキャン△イラスト入りの名刺制作	職員の名刺にゆるキャン△のイラストを入れ、地域の機運醸成及びPRを図った。
ゆるキャン△のポスター増刷	SBSが製作したゆるキャン△のポスターを200枚増刷し、地域の機運醸成を図った。

○評価・改善

（評価）

- 新型コロナウイルスの影響により、アフターDC及び予定していた首都圏等の観光展は中止となったが、代替事業としてコロナリカバリー対策事業を実施し、静岡県民限定OTA宿泊割引クーポン、伊豆半島観光安全安心づくり動画の制作など、即効性のある事業を実施し、一定の成果を得ることができた。
- 国内キャンペーン事業としては、伊豆半島WEBスタンプラリーを開催するとともに、第29回「ふるさと観光展IN仙台駅」、「ツーリズムEXPOジャパン2020旅の祭典in沖縄」などの商談会に参加することにより、県外からの誘客に努めた。
- 県外誘客事業として、13市町の臨時交付金を活用し、伊豆半島メディアプロモーション、伊豆半島を巡ってプレゼントをもらおう！“いずポン！”、オンライン観光及び宿泊施設でのおもてなし企画などを実施することができた。
- 1回目の緊急事態宣言下では、最大で前年比8割超減まで落ち込みが見られるなど壊滅的な状況であったが、宣言解除やGOTOトラベルにより若干の回復が見られた。その後、概ね前年比3割～4割減程度で推移していたものの、繁忙期である年末年始および河津桜期間が2回目の緊急事態宣言と重なり、厳しい状況を迎えることとなった。

(改善)

- ・令和3年度においても、静岡県観光協会 JR 東日本及び JR 東海と連携し、首都圏等の観光展、ツーリズム EXPO ジャパン 2021 大阪・関西のブース出展などを実施し、また、域内の市町、観光協会、交通事業者、観光関係者と連携しながら伊豆半島の誘客に努めていきたい。
- ・令和4年1月から放映が開始される大河ドラマ「鎌倉殿の13人」を大きな機会と捉え、「大河ドラマ「鎌倉殿の13人」ゆかりの地 伊豆・富士山周遊促進連絡協議会」や「大河ドラマ「鎌倉殿の13人」伊豆の国市推進協議会」と連携をとりながら、県内外から呼び込んだ観光客に広域の周遊を促し、舞台地の伊豆の国市周辺だけでなく、伊豆半島全体に効果が波及するような取組を実施する。
- ・令和4年1月から3月までの期間も、伊豆・箱根・湯河原地域は JR 東日本横浜支社の重点販売地域に指定されている。「鎌倉殿の13人」で伊豆半島が舞台となる時期と重なることが想定されることから、重点販売キャンペーンの機運醸成を「鎌倉殿の13人」の機運醸成に結び付け、両方が相乗効果となるような取組を実施したい。また、事業実施に当たっては、神奈川県などとの連携も図っていく。
- ・自主財源による事業執行を予定しているメニューについては、補助金の活用を検討する。

3. インバウンド（海外プロモーション）事業に関する事項

（1）インバウンド（海外プロモーション）事業

○事業概要及び成果等

インバウンド（海外プロモーション）事業については、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた誘客や海外観光展への出展、ファムトリップなどの誘客事業等を予定していたが、新型コロナウイルスの影響により、多くの事業が実施困難となった。

このため、事業内容を情報発信事業及び旅行商品開発事業に変更し、県観光協会 T S J と連携した W E B の制作や動画による情報発信、旅行商品の開発等を行っている。

○事業実施状況

①情報発信事業

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、国外観光展への出展等からウェブ等を活用した情報発信へ方針を変更し、伊豆半島地域の認知度向上を図った。
- ・自宅での料理等に関心が高まっている状況（いわゆる巣ごもり需要）を踏まえ、伊豆名産品を活用した情報発信を行うことで、食をきっかけとして、新たな層への訴求力を高める工夫を施した。
- ・情報発信対象が外国人であることを踏まえ、制作物については日本語を母国語としない在日外国人等に作成を依頼し、訴求力のある構成、デザイン等になるよう努めた。

事業名	概要																				
情報発信事業	【台湾向け情報発信】 ふじのくに静岡県台湾事務所と連携し、現地飲食店にて開催されたイベントにて、会員企業のわさびを活用したPR活動（静岡ナイト）を実施した。 【国外向けメディアへの発信】 国外向けアウトドア雑誌「Outdoor Japan (Winter 2021)」に伊豆半島エリア（南伊豆・中伊豆）に関する記事及び伊豆半島全域に関する広告記事を掲載し、国外のアウトドア愛好家への認知度向上を図った。 （成果物） Outdoor Japan Traveler Issue 77 Winter 2021 https://issuu.com/outdoorjapan/docs/japan-traveler-issue-77-winter-2021																				
英語版ウェブサイト作成事業	国外向けの情報発信の中核となる英語版ホームページ「EXPLORE-IZU (https://explore-izu.com/)」を作成。TSJ（静岡ツーリズムビューロー）が運営する英語版ホームページ「EXPLORE-SHIZUOKA」と統一感があるデザインを採用し、両ホームページ間の連動性を持たせた。																				
ウェブ用コンテンツ作成事業	地域づくり助成金を追加申請し、希望市町の新規動画作成または既存動画の翻訳を実施した。新規作成動画については、再生時間を30～90秒に留め、SNS等での活用を意識した構成とした。 （成果物） <table><tr><th>市町名</th><th>本数</th><th>市町名</th><th>本数</th></tr><tr><td>南伊豆町（新規）</td><td>6本</td><td>河津町（新規）</td><td>6本</td></tr><tr><td>下田市（新規）</td><td>4本</td><td>松崎町（新規）</td><td>2本</td></tr><tr><td>伊豆の国市（新規）</td><td>1本</td><td>伊豆市（新規）</td><td>2本</td></tr><tr><td>函南町（新規）</td><td>1本</td><td>熱海市（翻訳）</td><td>2本</td></tr></table>	市町名	本数	市町名	本数	南伊豆町（新規）	6本	河津町（新規）	6本	下田市（新規）	4本	松崎町（新規）	2本	伊豆の国市（新規）	1本	伊豆市（新規）	2本	函南町（新規）	1本	熱海市（翻訳）	2本
市町名	本数	市町名	本数																		
南伊豆町（新規）	6本	河津町（新規）	6本																		
下田市（新規）	4本	松崎町（新規）	2本																		
伊豆の国市（新規）	1本	伊豆市（新規）	2本																		
函南町（新規）	1本	熱海市（翻訳）	2本																		
インバウンド用伊豆半島総合MAP作成	インバウンド需要回復時のセルフドライブ需要に応えるため、伊豆半島ジオパーク推進協議会との協働により伊豆半島全域の日本語版及び英語版の総合マップを作成した。 （成果物） (1)パンフレット英語版（A1・八折り） 6,400部 (2)パンフレット日本語版（A1・八折り） 1,400部 (3)ポスター英語版（A1） 350部																				
市場調査及びコンサルティング事業	インバウンドツーリズムの公的専門機関であるJNTO（日本政府観光局）へ賛助会員として登録。国外情報発信に関するヒアリングやコンサルティングを受けること、JNTOが有する国外拠点を活用してのプロモーションを行うことが可能になった。																				

事業名	概要
YouTube による情報発信事業	自宅での料理やプラントベース（菜食を中心にした食生活）への関心が高まっていることを踏まえ、国外の人気 YouTube チャンネル「Yeung Man Cooking（登録者数 26.4 万人）」と連携して、伊豆の食材（箱根西麓三島野菜）を活用した動画を作成した。 （成果物） (1)三島野菜カレーうどん（再生回数：164,142 回） https://www.youtube.com/watch?v=nkYPkMEGcug (2)三島野菜ラーメン（再生回数：49,618 回） https://www.youtube.com/watch?v=8TM47lYJq2l ※登録者数及び再生回数は 2021/3/16 時点のもの
海外テレビ番組による情報発信事業	オーストラリアの人気料理番組「Good Chef Bad Chef」にて、伊豆の食材を取り上げるとともに、伊豆の観光情報を放送することにより、幅広い層への情報発信を図った。 （成果物） (1)伊東市 ねごめし（伊東の漁師飯） (2)南伊豆町 伊勢海老の昆布締め (3)伊東市 天井 (4)美伊豆 わさび&きのこスパゲティとバター醤油 (5)下田市 キンメダイの煮付け

②旅行商品開発事業

- ・県観光協会 T S J 及び商品企画課と連携し、各市町のインバウンド商品の整理や、販売を行うランドオペレーターの要望を踏まえた視察等を行いながら、新たな旅行商品開発を行う事業を展開している。
- アウトドア（トレッキング・カヤック）、富裕層向けホテル、体験観光プラン 等
- ・富裕層向けの旅行商品等は、オーダーメイドの形で、旅行商品の提案を行っていたものについて、継続して実施していく。

事業名	概要
富裕層向けツアー開発	富裕層向けツアーへの提案を行うため、駿河湾フェリーを利用したツアー等についての情報収集及び調整を行った。
静岡県インバウンド旅行商品オンライン商談会	県観光協会、県内 DMO と連携し、有力な在日ランドオペレーター 5 社とオンライン商談会を実施した。(11/5)
ランドオペレーターの県内視察の実施による販売網拡大事業	県観光協会商品企画課と連携し、ランドオペレーターの県内視察事業を実施した。 1 回目（11/10～11/11） 伊豆の国市（伊豆の国パノラマパーク）伊豆市（修善寺の人力車散策・旅館視察）三島市（楽寿園 水辺散策）函南町（わさびミ

事業名	概要
	ユージアム・伊豆ゲートウェイ函南）富裕層向け個人旅行の商品化に向けた内容の確認と動画撮影を実施した。 2 回目（12/2～4） 河津町（河津桜まつりの会場・ホテル視察）松崎町（人力車と松崎町の散策・松崎桜葉商店工場見学）伊豆市（修善寺温泉場散策・ホテル視察）伊豆の国市（韭山反射炉・茶摘み体験）
アクティビティの旅行商品開発及び PR 事業	主催事業として、県観光協会 T S J 及び伊豆市 DMO に連携を依頼した。インバウンド対象のアウトドア関連事業者を招聘し、伊豆のアクティビティの旅行商品開発を行った。（11/23～11/27） 河津町（河津七滝・わさび収穫体験）西伊豆町（堂ヶ島散策・トレッキング、鯉節削り体験）松崎町（カヤックフィッシング・マウンテンバイク・神社仏閣めぐり）伊豆市（旅館・ホテル視察 天城山トレッキング・浄蓮の滝）伊豆の国市（メリダ X ベース・旅館視察）三島市（楽寿園・水辺散策） 2021 年夏に開催するアクティビティの全国大会において、旅行商品の販売が決定した。
EXPAT EXPO TOKYO 2020	日本に住む外国人の方向けの初の展示会「EXPAT EXPO TOKYO 2020」に参加し、伊豆旅行商品のプロモーションを実施した。（11/7）
ゴルフツーリズム事業	県観光協会 T S J 及び伊豆市、伊東市と連携し、同地域を主としたゴルフツーリズムを実施した。（11/24～11/26） インバウンド向けゴルフツーリズムは、ゴルフ場の整備状況などから、日本に対するニーズが高い反面、国内で取り扱う旅行会社が少ないため、海外旅行会社の要望に応えられていない状況にある。このため、海外向けの情報を整理し、交通や観光を組み合わせたパッケージ商品化を行い、ゴルフを取り扱う旅行会社にセールスを提案することで、海外旅行会社の要望に応えていく。
英国圏市場（在日外国人を含む）を対象としたセルフドライブ事業	在日外国人の旅行者に対して、セルフドライブの旅の手段となるレンタカーを使った旅行提案を行い新たな旅行スタイルの商品の紹介と情報の発信を並行して行った。 1 回目（11/26～27） 伊豆市（修善寺温泉散策・アマゴ試食・達磨山トレッキング）松崎町 伊豆松崎あそび島（キャンプ場） 西伊豆町（堂ヶ島クルーズ・河津町（河津七滝ハイキング） 2 回目 コロナ禍により中止

事業名	概要
台湾向け旅行商品開発事業 （中部運輸局 ナイトタイムエコノミー推進にかかるコンテンツ造成事業）	地域の状況に応じた夜の楽しみ方を拡充し地域での更なる滞在を促すのみならず、新たな消費活動や魅力を創出することで、訪日外国人の観光消費拡大を図ることを目的に開催した。（訪日外国人の滞在時間の延長促進・観光消費の拡大） 事務局打合せ会（関係団体との事務局打合せ） 2 回 ワークショップ（三島市及び広域関係者） 2 回 検討会（有識者との検討） 3 回 中国語ガイド研修（中国語の通訳案内士の研修と養成） 3 回（座学 2 回 実践 1 回） ファムトリップ（台湾の旅行商品を取り扱った旅行会社の訪問） 1 回（1 泊 2 日）
メディア向けファムトリップコース設定事業	各種メディア関係者からの欧米豪を対象としたファムトリップ依頼に対応するため、T S J 戦略アドバイザーのトニー エバレット氏からアドバイスをいただき、歴史・文化・食など欧米豪からの興味が高いと思われる視察先、コースの設定を行った。（1/25～27、2/2、3、19、26、3/11、23、29、30） （訪問先） 熱海市（MOA 美術館・熱海梅園・熱海駅前商店街散策） 沼津市（御用邸・びゅうお・沼津港エリア・深海魚水族館・戸田歴史博物館・プチャーチン関連・深海魚博物館・淡島ホテル・あわしまマリンパーク） 伊豆の国市（伊豆の国パノラマパーク・萑山反射炉・江川邸・願成就院） 函南町（伊豆ゲートウェイ函南・めんたいパーク・わさびミュージアム） 伊豆市（松原公園・清雲寺・土肥金山・土肥桜・恋人岬） 南伊豆町（温泉メロン栽培地・石廊崎散策・壱岬ハイキング） 下田市（龍宮窟・田牛サンドスキー場・爪木崎・ペリーロード・了仙寺・上原美術館・観音温泉・長楽寺・下田ロープウェイ・寝姿山散策） 河津町（今井浜海岸・舟渡の番屋・河津桜） 東伊豆町（伊豆ホテル・雛飾り関連・清光院（座禅体験）） トニー エバレット氏 T S J 戦略アドバイザー（熱海市在住） 令和 2 年 4 月に、インバウンド専門の旅行会社「Hike Hakone Hachiri 合同会社」を設立。

事業名	概要
ビジネスジェット利用富裕層の伊豆誘致のための視察事業	コロナ禍収束後のビジネスジェットを活用した誘致促進のため、富士山静岡空港のビジネスジェット関連アドバイザーを県内に招請し、宿泊施設や観光地の視察を行った。(3/22～23) 伊東市 川奈ホテル・伊豆高原 MIKUNI IZUKOGEN・坐漁荘 下田市 玉泉寺・ハリス記念館・下田プリンスホテル 上原美術館・観音温泉・ペリーロード

※中止となった事業

事業名	概要
欧米豪の旅行商品開発事業委託	旅行商品開発の一つとして、欧米豪の旅行商品の開発及び現地視察を行う予定であったが、コロナ禍で中止となった。
『芸者』による旅行商品開発及びPR事業	「JTB グローバルマーケティング&トラベル社」から、オンラインツアーの提案があり、伊豆の国パノラマパークにおいて芸者によるオンラインツアーの実施を予定していたが、緊急事態宣言により中止となった。(1/14)

③その他の取組

事業名	概要
インバウンド担当者会議 (修善寺総合会館)	各市町のインバウンド担当者に対し、報告を行うとともに、T S Jによるセミナーを開催した。(8/25) ・昨年度の事業報告と会計報告 ・T S Jのセミナー開催 ・本年度の事業計画と予算について

○評価・改善

(評価)

- ・新型コロナウイルス蔓延の状況を踏まえ、観光展や国外旅行会社のファムトリップといった施策から、オンライン等の活用へ転換することにより、幅広い層に対する情報発信を行うことができた。
- ・従前からの課題であった英語版ホームページの開設を実現することができた。
- ・ホームページや動画コンテンツの作成に当たり、日本語を母国語としない外国人に作成を依頼する等、誘客対象である外国人目線での情報発信になるよう努めた。
- ・インバウンド向けの旅行商品は、国外の旅行会社が、顧客層及び観光施設や宿泊施設等が、販売に適しているかを現地で確認し、商品を作り上げることが重要であるが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の中で、国外から旅行会社の訪問が出来ないため、国内にあるインバウンドを対象としている旅行会社に対して、ファムトリップ等の事業を行った。
- ・旅行のスタイルが多様に変化する中で、対応した旅行商品の開発を進めることができた。

(改善)

- ・作成した英語版ホームページの内容が、現状では基本的な情報に限られていることから、更なる内容の充実を図る。
- ・特定の国や地域にターゲットを限定した、より訴求力のある情報発信を行うことで、国外における伊豆半島地域の認知度向上を図っていく。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大の収束については、未だ見通しが立たない状況であることから、情報発信による効果が反映されるには時間を要することが見込まれるが、インバウンド需要回復時に、いち早く当該需要を伊豆半島地域へ呼び込むことができるよう、効果的な情報発信を継続していく。
- ・旅行商品開発事業については、よりターゲット層を絞った内容や新しい旅行スタイルに合った商品の開発が必要となることから、J N T O や県観光協会・T S J などと情報共有を図り、事業を継続していく。

4. H P 管理及び情報発信強化事業、伊豆半島 P R 事業

(1) H P 管理及び情報発信強化事業

○事業概要及び成果等

総合観光情報サイト「ゆうゆうネット伊豆」に掲載している伊豆半島の観光情報の充実を図るとともに、13市町の観光ホームページと連動した周遊ルート案内サービスの導入や S N S を活用した効果的な情報発信に取り組んでいる。

○事業実施状況

①情報発信強化事業

- ・「ゆうゆうネット伊豆」と13市町の観光サイトに周遊ルート案内サービスアプリ「Japan Concierge」を導入し、旅行前・滞在中の観光情報収集の満足度を向上し、伊豆半島内の周遊を促進する。
- ・併せて Facebook や Instagram などの S N S を活用した効果的な情報発信を実施した。

事業名	概要
周遊ルート案内サービス「Japan Concierge」の導入	「ゆうゆうネット伊豆」及び13市町（観光協会）サイトに周遊ルート案内サービスアプリ「Japan Concierge」を導入中。 令和2年度は、「ゆうゆうネット伊豆」及び三島市観光協会、伊豆市観光協会、伊豆の国市観光協会、河津町観光協会の観光サイトへの導入を行った。 「Japan Concierge」 WEB サイト上で行きたい場所を選ぶだけで、周遊コースが自動で作れるサービス。独自の技術で最適な順番に並び替えを行い、2次交通を含む最適な移動手段を判定し（自動車優先か公共交通優先かを選択可能）、移動時間、所要時間、移動ルート、乗換案内を提供するアプリ。

事業名	概要
S N S プロモーション	Twitter の公式アカウントを新規開設し、既存の Facebook 及び Instagram 公式アカウントと併せて活用した。 主に若年層をターゲットにしたプロモーションを行うとともに、Instagram 及び Twitter においてプレゼントキャンペーンを実施し、フォロワー数を大幅に伸ばした。 【キャンペーン第1弾】（11/18～12/17） Instagram：熱海プリンセット フォロワー数 3,632 増 Twitter：Amazon ギフト券 フォロワー数 3,501 増 【キャンペーン第2弾】（2/4～3/4） Instagram：伊豆のお菓子詰め合わせ フォロワー数 2,412 増 Twitter：Amazon ギフト券 フォロワー数 7,986 増 最終フォロワー数（3/25 時点） Instagram：6,973 人、Twitter：11,013 人

②HP 管理事業

事業名	概要
「ゆうゆうネット伊豆」サイト改修	総合観光情報サイト「ゆうゆうネット伊豆」の管理・運営業務を行うとともに、以下の改修を行っている。 ・法人ページ統合及び内容変更 ・モデルコース差し替え ・バリアフリーガイド情報の転載

（２）伊豆半島PR事業

○事業概要及び成果等

三島駅コンコースに電照看板を掲出し、伊豆半島のPRを行った。

○評価・改善

（評価）

- ・「Japan Concierge」については、ゆうゆうネット伊豆及び4市町への導入にとどまった。
- ・SNSについては、フォロワー数が大幅に増加した。旅前の観光情報収集、旅中での観光情報・案内の満足度が低い現状の中、次代の主要顧客層となる若年層の主な検索エンジンであるSNSの情報発信力を強化したことにより、新鮮な情報の随時提供が可能となり、来遊客の情報取得促進、伊豆地域の魅力の認知向上に繋がった。
- ・「ゆうゆうネット伊豆」については、アクセス数が減少しており、対策が必要。

（改善）

- ・「Japan Concierge」については、他9市町への導入を進め、早期の効果発現を図る。
- ・SNSプロモーションについては、新規フォロワーを多数獲得できたが、エンゲージメント率を伸ばすためにも、継続してより効果的な情報発信をしていく。

5 来遊客周遊性・滞在性向上事業

(1) サイクルフレンドリー事業

○事業概要及び成果等

「サイクリングリゾート伊豆基本計画」における目標である「サイクリングリゾート伊豆ブランドの定着」達成のため、サイクリングイベント開催等により、サイクリングエリアとしての伊豆の魅力を全国に発信するとともに、イベント運営への協力等において伊豆半島内の地域の人に対し、計画推進の意義や効果、地域資源の魅力の再発見等の浸透を図ってきた。

○事業実施状況

①サイクリングリゾート伊豆基本計画推進事業、サイクリングPR事業

- ・プロモーションやSNSを活用した「サイクリングリゾート伊豆ブランド」の全国への情報発信を行う予定だったが、新型コロナウイルスの影響により、実施を見送った。

②伊豆半島一周サイクリングの開催

- ・「伊豆いち」は、令和2年度で6回目の当該イベントであり、平成30年度から当センターが事業継承しているが、令和2年度からサイクリングアプリを利用した期間型イベントへの転換を図った。
- ・令和2年度は、一般社団法人ルーツ・スポーツ・ジャパンの開催する期間型イベント「サイクルボール～日本7大一周制覇を目指せ～」の中の一つのステージとして「伊豆半島一周サイクリング」（伊豆いち）を開催した。なお、新型コロナウイルスの影響により、実施予定のイベント「200kmコース1day」は、開催を見送った。
- ・全国のサイクリストに有名な「ツール・ド・ニッポン」シリーズを展開するルーツ・スポーツ・ジャパンと共催することで、全国のサイクリストへの効果的な発信を継続的にを行っている。

事業名	概要
サイクルボール 伊豆半島一周サイクリング	（一社）ルーツ・スポーツ・ジャパンの開催する期間型イベント「サイクルボール～日本7大一周制覇を目指せ～」の中の一つのステージとして「伊豆いち」を開催した。 「サイクルボール～日本7大1周制覇の旅～」 内容：サイクリングアプリ「ツール・ド」を使って日本7大1周コースの制覇を目指す 期間：令和2年8月1日（土）～令和3年3月28日（日） 主催：（一社）ルーツ・スポーツ・ジャパン 共催：（一社）淡路島観光協会、（公財）浜松・浜名湖ツーリズムビューロー、御殿場市スポーツタウン推進連絡会、茨城県かすみがうら市、滋賀県守山市、（一社）美しい伊豆創造センター、福島市相馬市二本松市伊達市観光圏協議会

事業名	概要
	「伊豆いち」 特別協力：スルガ銀行 ・ 7/14 に開催発表会見とプレスリリースが行われた。 ・ 「伊豆いち」 スタート数（参加者）：519 名 （前年度「伊豆いち」 イベント参加者 391 名） （サイクルボールスタート数：7, 318 名） ・ 「伊豆いち」 参加地域：中部 21. 5% 関東 55. 1% 近畿 18. 1%
サイクルボール FAM ツアー	「伊豆いち」 P Rのためのファムツアーを実施し、YouTuber の tom' s cycling や静岡県東部で活動するカケルバイクなどが参加した。（8/1～8/2） 当日の様子は、tom' s cycling の YouTube チャンネルで 8/20 に公開され、60, 900 回以上再生された。また、BiCYCLE CLUB 編集部のサイト（8/25、8/26）でも公開された。
伊豆半島 1 周サイクリング～サイクルボール獲得を目指せ～ 伊豆半島 1 周サイクリング～サイクルボール獲得を目指せ～	「サイクルボール～日本 7 大 1 周制覇の旅～」の特別イベントとしてスルガ銀行と共同で、「伊豆いち」完走を目指す 1 泊 2 日ライドを 2 回開催した。（10/31～11/1、11/28～11/29） <参加者> 第 1 回 グループライド：8 名、フリーライド：37 名 第 2 回 グループライド：6 名、フリーライド：42 名
サイクリングキャンペーン「ツール・ド × 伊豆・沼津」への協力	狩野川周辺サイクル事業推進協議会が実施するサイクリングキャンペーン「ツール・ド × 伊豆・沼津」への協力を行っている。 伊豆半島北西部の 4 コースで、同キャンペーンもサイクリングアプリ「ツール・ド」を使用している。（9/19～12/20）
E-BIKE ライドプレミア in 伊豆半島	ルーツ・スポーツ・ジャパンの実施した「エントリーユーザー離脱調査」の結果を踏まえ、困った部分のサポートを行う 1 泊 2 日のプレミアムライドツアーを実施した。（3/27～3/28）

③スルガ銀行と協力した自転車を活用した地域活性化事業

- ・ スルガ銀行との自転車を活用した地域活性化事業として、今年度は、「伊豆いち～サイクルボール獲得を目指せ～」及び「伊豆半島峠攻略ライド」を軸とした事業を展開した。
- ・ スルガ銀行サイクリングプロジェクトのWEBサイトにおいて、サイクリングエリアとしての伊豆の魅力のPR等、連携して事業を実施している。

事業名	概要
伊豆半島峠攻略ライド 2020	スルガ銀行が実施する、中上級者サイクリストを対象とした参加費無料の少人数制プレミアムライド（7/30～11/10） 今年度開催予定の 8 回中 4 回開催 計 26 名参加
SURUGACycleJournal 伊豆半島プロモーション	スルガ銀行の WEB サイト D-labo にて連載している SURUGACycleJournal に「自転車でゆるく楽しむ大人の伊豆」を掲載し、各種 SNS にて拡散

○評価・改善

（評価）

- ・新型コロナウイルス感染症拡大により、当初予定していたプロモーションの多くは見送りとなったが、これまでの取組から、サイクリストに対しての伊豆半島の魅力のPRは一定の効果を得ていると考えられる。
- ・「伊豆いち」に関しては、参加者が一堂に会する従来型の1 day イベントから、サイクリングアプリ「ツール・ド」を使用し、参加者が自分のペースで参加できる期間型のイベントへと転換を図った結果、イベントへの参加者数を増加することができた。期間型イベントは、1 day イベントと異なり、期間中を通じた消費が図られることから、域内消費が増加したと想定される。
- ・また、期間型にしたことにより、そのイベントから派生する複数の事業を手掛けることが出来た。スルガ銀行とのイベントもその内の1つであり、個人でのイベント攻略が困難なサイクリストをサポートするという形で、多くの参加者を得ることが出来た。
- ・コロナウイルスの影響も大きく特に終盤は伸び悩んだことから、引き続き、サイクルボールに参加するが、開催時期、開催方法については、ルーツ・スポーツ・ジャパンとともに見直しを行う。

（改善）

- ・令和2年度（2020年度）は「サイクリングリゾート伊豆基本計画」の最終年度であるが、本計画は東京オリンピック・パラリンピック開催年までの気運醸成・環境整備等を含めて事業期間の設定が行われていることから、本年度、当該計画の総括を行い、今後の美伊豆のサイクリング事業の方向性を検討していく。
- ・今後はこれまでの取組を踏襲しつつ、より幅広い層に伊豆半島のサイクルリゾートとしての魅力を発信しPRしていきたい。
- ・なお、「サイクリングリゾート伊豆基本計画」に基づく昨年度のKPI（重要業績評価指標）の実績及び本年度の目標値は次ページのとおり。
- ・「伊豆いち」については、サイクリングアプリ「ツール・ド」を使った期間型イベントに転換したことにより、参加者が増加したため、引き続き事業を実施したうえで、今後の方向性を検討する。

「サイクリングリゾート伊豆基本計画」に基づく KPI（重要業績評価指標）

（２）静岡県連携事業、道の駅ネットワーク周遊促進事業

○事業概要及び成果等

静岡県と連携し、歴史的観光資源調査及び伊豆半島「Pokémon GO」A Rフォトコンテストを実施した。また、観光案内の拠点である伊豆半島の道の駅を活用した観光情報の提供を行った。

○事業実施状況

①静岡県連携事業

事業名	概要
歴史的観光資源調査業務	2022 年に放送予定の大河ドラマ「鎌倉殿の 13 人」の主人公である北条義時（1163-1224）の活躍した西暦 1200 年前後を中心に、北条氏をはじめ、源氏や平氏等に関わる伊豆半島・富士山周辺地域の歴史的観光資源（史跡、伝承等）を調査した。
伊豆半島ポケモンプロジェクト	静岡県が行う「伊豆半島ポケモンプロジェクト」に参加し、伊豆半島「Pokémon GO」A Rフォトコンテストの入賞者選考業務を実施した。（10/1～12/31） 応募総数 2189 件（Twitter 1197 件、Instagram 992 件）

②道の駅ネットワーク周遊促進事業

道の駅にデジタルサイネージを設置し、観光情報の提供を行った。

○評価・改善

（評価）

- ・歴史的観光資源調査により、東部 20 市町の歴史的観光資源の概要が把握できた。
- ・伊豆半島ポケモンプロジェクトについては、伊豆半島「Pokémon GO」A Rフォトコンテストに 2000 件以上の応募があり、伊豆半島の閑散期における一定の誘客効果を得た。

（改善）

- ・歴史的観光資源調査の資料を元に大河ドラマ関連の取組につなげていく。
- ・伊豆半島「Pokémon GO」A Rフォトコンテストについては、令和 3 年度も実施する予定であり、より効果的な事業としていく。

6 地域ブランド化事業

○事業概要及び成果等

令和 2 年度は、昨年度に引き続き、大型ショッピングモールでの観光物産展事業、伊豆の自慢プリン事業、カタログギフト事業の推進により、最大の誘客ターゲットである首都圏近郊の顧客に対し、伊豆半島の食資源の魅力と観光情報を P R していく。

○事業実施状況

①伊豆半島食コンテンツ強化事業（カタログギフト事業）

- ・昨年度作成した観光型カタログギフト「美しい伊豆を贈る。」の情報発信及び販売促進のため、県内メディアへのプレスリリースやバイシズオカ運動との連携を実施した。またカタログギフト商品の周知のため、神奈川新聞への広告掲載を実施し、情報発信を図った。

事業名	概要
カタログギフト 「美しい伊豆を贈る。」 プレスリリース実施	県内メディア向けに、カタログギフト「美しい伊豆を贈る。」の作成についてプレスリリースを実施（5/18）。 伊豆日日新聞（5/24）、静岡新聞（5/28）の計2社が記事を掲載。
「バイシズオカ」運動との連携	県マーケティング課で実施している、県民に県産品の購入や県内施設の利用を呼びかける「バイシズオカ」運動推進のため、「美しい伊豆を贈る。」サイトにおいて、「バイシズオカ」ロゴの使用及び県PRサイトとの相互リンクを実施した。
神奈川新聞への広告掲載	首都圏へのカタログギフトの周知及び販売促進のため、神奈川新聞への広告掲載を実施した。（12/12 掲載）

②伊豆半島食コンテンツ強化事業（IJP～伊豆の自慢プリン～事業）

- ・「IJP～伊豆の自慢プリン～」の情報発信のためのプレスリリース、参画店舗を周遊するWEBスタンプラリーへの活用等を実施した。
- ・BeautyJapan 東海大会事務局と連携し、東海大会のファイナリストを招いてプリン試食会を実施し、F1 層への情報発信を図った。
- ・首都圏への情報発信の強化として神奈川のメディア関係者を招いてのプリンの試食会（1月）や参画店舗への周遊促進として楽天チェックインラリー（2月）の実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止することとなった。楽天チェックインラリーについては、R3 年度に延期して実施予定。

事業名	概要
「IJP～伊豆の自慢プリン～」	県内メディア向けに、「IJP～伊豆の自慢プリン～」パンフレット作成についてプレスリリースを実施（6/2）。 伊豆日日新聞（6/4）、静岡新聞（6/17）の計2社が記事を掲載。 ・下田有線テレビ放送（SHK）（6/5）、伊東市ケーブルテレビ局（CVA）（6/6）にて放送されたほか、事業に参画している今井浜東急ホテルも独自にプレスリリースを実施し、朝日新聞デジタル（6/9）等複数のネット記事に掲載。 SBS テレビ「Sole いいね！」にて、「IJP～伊豆の自慢プリン～」に参画している、「沼津深海プリン工房 青とプリンとジェラートと」が取材を受け、中継放送（6/29）。 中部しんきんVISAカード会員向け情報誌「ぴっくあっぷガイド」

事業名	概要
	に「IJP～伊豆の自慢プリン～」が掲載。（発行部数 15 万部）
「IJP～伊豆の自慢プリン～」試食会	IJP 事業参画店舗のプリンを集約し、プリン試食会を実施(3/28)。BeautyJapan 東海大会事務局と連携して、東海大会のファイナリストを招いた。SNS 等を活用した F1 層への情報発信を図った。

③食資源による魅力発信事業（大型ショッピングモール観光物産展事業）

- ・首都圏への情報発信を目的として日本最大級のショッピングモールであるイオンレイクタウン kaze にて観光物産展の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止することとなった。
- ・観光地の安全対策の PR や季節のイベントの PR、リピート客の造成を図るため、道の駅伊豆ゲートウェイ函南で観光物産展の開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止することとなった。本イベントについては、R3 年度に延期して開催を予定。

○評価・改善

（評価）

- ・新型コロナウイルス感染拡大の影響により、実施予定のほとんどの事業を中止又は延期することとなった。実地でのイベントによる情報発信が困難なことから、新聞広告や SNS を活用した情報発信を実施し、新しい生活様式に対応した事業展開を模索した。

（改善）

- ・令和 3 年度においては、コロナ対策を念頭に置きながら伊豆の食資源のブランド化に努めていきたい。観光物産展については、通常の観光情報及び物販商品の情報発信だけでなく、各地域の安全安心対策の取組や物販事業者の EC サイトの紹介等も実施したい。
- ・伊豆の自慢プリン事業については、F1 層への情報発信を目的とした SNS の活用強化、インフルエンサーと連携した情報発信等を実施したい。あわせて店舗への周遊企画を実施し、伊豆への誘客に努めたい。

7 その他連携事業の実施

（1）その他連携事業

○事業概要及び成果等

観光地域づくり法人として、様々な団体と事業連携を行った。

① 伊豆半島道路ネットワーク会議

伊豆縦貫道と国道、幹線市町道を含む地域全体のあるべき姿を検討し、短期・中長期を見据えた実施計画を策定することを目的としている。

本年度は、国・県・市町と協力し、プロジェクトマップの更新を実施した。

② 日本風景街道「なごみの伊豆 なごみの道」推進会議

伊豆半島全域を対象とする日本風景街道「なごみの伊豆 なごみの道」について、国土交通省河川国道事務所等と連携し、伊豆の道が住民や訪れる人にとって“なごみの道”になるよう、周遊の道の魅力づくりなどに取り組んでいく。

なお、令和3年2月に日本風景街道「なごみの伊豆 なごみの道」の事務局となった。

③ 環駿河湾観光交流活性化協議会

環駿河湾観光交流活性化協議会に負担金を支出し、各種事業を展開した。

④ その他の関係団体との連携

以下の関連団体に参加し、連携して事業を実施した。

- 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会（再掲）
- 静岡県大型観光キャンペーン推進協議会 伊豆地域部会（再掲）
- 環駿河湾観光交流活性化協議会（再掲）
- 静岡県コンベンション推進協議会
- 静岡県東部地域コンベンションビューロー
- 伊豆地域インバウンド交通連絡協議会
- ふじのくにクルーズ船誘致連絡協議会
- 駿豆線沿線地域活性化協議会観光部会（再掲）
- 「昇龍道」連絡調整会議
- 伊豆の国市観光戦略会議
- 河津町温泉会館管理運営委員会
- 伊豆半島における観光型 Maas 実証実験実行委員会
- 伊豆交通圏タクシー準特定地域協議会
- 伊豆半島道路ネットワーク会議（再掲）
- 伊豆半島景観協議会等広域連携会議
- ふじのくにに住みかえる推進本部（再掲）
- 賀茂地域ふれあい事業推進協議会
- 静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合
- 東京オリンピック・パラリンピック自転車競技静岡県開催推進委員会
- 太平洋岸自転車道推進静岡地区協議会
- 静岡県サイクルスポーツの聖地創造会議
- 狩野川周辺サイクル事業推進協議会（再掲）
- 静岡県東部スポーツ産業振興協議会
- 美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議東部地域会議
- 美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議伊豆半島地域会議
- IZU CHALLENGER AWARD 実行委員会

Ⅱ 庶務の概要

1. 会員に関する事項（令和3年3月31日現在）

(1) 会員の異動数

区分	会 員 数		増減
	令和2年3月31日現在	令和3年3月31日現在	
正 会 員	92	89	△3
賛 助 会 員	19	23	4
協 力 会 員	4	3	△1
合 計	115	115	0

2. 役員等に関する事項（令和3年3月31日現在）

(1) 理事・監事

役 職	氏 名	分 属
会長(代表理事)	豊岡 武士	三島市長
副会長(理事)	小野 登志子	伊豆の国市長
〃	小林 秀樹	伊豆急ホールディングス株式会社代表取締役社長
理事	頼重 秀一	沼津市長
〃	齊藤 栄	熱海市長
〃	小野 達也	伊東市長
〃	松木 正一郎	下田市長
〃	菊地 豊	伊豆市長
〃	太田 長八	東伊豆町長
〃	岸 重宏	河津町長
〃	岡部 克仁	南伊豆町長
〃	長嶋 精一	松崎町長
〃	星野 浄晋	西伊豆町長
〃	仁科 喜世志	函南町長
〃	伍堂 文康	伊豆箱根鉄道株式会社代表取締役社長
〃	金野 祥治	東海自動車株式会社代表取締役社長
〃	植松 和男	一般社団法人美しい伊豆創造センター専務理事
監事	稲田 精治	一般社団法人三島市観光協会会長
〃	田中 豊	下田商工会議所会頭